

1 101人が選ぶ「とっておきの言葉」



- ① 河出書房新社/編
- ② 河出書房新社
- ③ 1300円
- ④ 15カ017

芸人、俳優、スポーツ選手……。それぞれの分野で活躍する人たちの「とっておきの言葉」を紹介。

「言葉」だけ読むもよし、各人の「背景」を知り更に深く読むもよし。

百人百様の人生がここに 있습니다。

2 日本という国 決定版



- ① 小熊英二/著
- ② 新曜社
- ③ 1400円
- ④ 21才018

私たちの生きる「日本という国」がどのように成立したか描いています。福沢諭吉の学問のすすめや明治期からの教育、戦争や憲法について分かり易く解説しています。歴史的事実を知った上で、今後どのような国にしていくか考えさせられる一冊です。

3 みんなの西郷さん



- ① 小平田史穂/著
- ② 淵上印刷
- ③ 1000円
- ④ 28サ017

「この本を読めば、西郷さんについて分かる！」という一冊。小説ではなく、史実に基づいて書かれているところがおすすめポイントです。読み仮名が付いていたり難しい用語に解説があったり、歴史が苦手な人でも読みやすいです。

4 チョコレート物語
一粒のおくり物を伝えた男



- ① 佐和みずえ/著
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ 28サ018

一粒一粒に丹精を込めたチョコレート職人として有名な、ロシア人のモロゾフ一家。神戸での開業までは苦難の連続でした。家族で協力して苦難に立ち向かい、みんなを幸せにするチョコレート作りに生涯をかけた一家の物語です。

5 危機の現場に立つ



- ① 中満泉/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 32ナ017

国連をはじめ様々な国際組織で平和活動に携わってきた中満さんの活動や思いを綴っています。

中満さんの実体験を基に国際的な視野を広げることができます。また、働く意義を考えさせられます。

6 ようこそ、難民！
100万人の難民が やってきたドイツで起こったこと



- ① 今泉みね子/著
- ② 合同出版
- ③ 1500円
- ④ 33イ018

2015年から2016年にかけて、難民たちが押し寄せたドイツでの出来事をモチーフに描かれた物語です。難民が生まれた背景や、受け入れる側の現状と課題が分かりやすく説明され、難民問題に対し私たちがどのように考え、行動すべきかを教えてください。

7 居場所がほしい
不登校生だったボクの今



- ① 浅見直輝/著
- ② 岩波書店
- ③ 820円
- ④ 37ア018

中学時代に2年近くにわたる不登校・引きこもりを経験した著者。ネガティブにとらえられがちな不登校を「チャンス」ととらえ、自分の体験を元にして、周囲とのつながりや支え合いをつくり、広げていく姿に、元気をもらえる一冊です。

8 ぼくは恐竜探検家！



- ① 小林快次/著
- ② 講談社
- ③ 1200円
- ④ 45コ018

今では恐竜探検家として活躍している小林さんもかつては進路に悩み、やりたいことが分からない、そんな時期を過ごしていました。

成功するまでに悩む姿に親近感を覚えつつ、目標を定め真剣に立ち向かう姿に勇気をもらえる一冊です。

9 はじめての絵画の歴史
「見る」「描く」「撮る」のひみつ



- ① デヴィッド・ホクニー/著
マーティン・ゲイフォート/著
ローズ・ブレイク/イラスト
- ② 青幻社インターナショナル
- ③ 2500円
- ④ 72ホ018

洞窟の壁に描かれた大昔の絵から、コンピューターやスマートフォンのカメラを使って制作した画像まで、様々な「絵」の歴史をテーマごとに紹介しています。絵の見方について、新たな視点を得ることができる一冊です。

10 人生を変えるアニメ



- ① 河出書房新社/編
池澤春菜[ほか]/著
- ② 河出書房新社
- ③ 1350円
- ④ 77イ018

声優や小説家など27人が、タイトルどおり、それぞれの「人生を変えたアニメ」を紹介しています。印象的な場面を中心に、心に残っているセリフや今の職業につながった理由など作品の魅力がたっぷり語られています。人生哲学も学べる一冊です。

11 給食アンサンブル



- ① 如月かずさ/著
- ② 光村図書出版
- ③ 950円
- ④ 91キ018

心に悩みを抱きながらも、給食をきっかけに変わっていく6人の中学生の物語。勉強、恋愛、友人関係……どの悩みもまるで自分のことのように共感しながら、読後には爽やかな気持ちになります。6つの作中の登場人物がそれぞれつながっているところも楽しいです。

12 リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ



- ① こまつあやこ/著
- ② 講談社
- ③ 1200円
- ④ 91コ018

マレーシアからの帰国子女、沙弥は、日本の中学校に順応しようと必死な中学2年生。上級生からの強引な誘いで始めた短歌作りが、沙弥のみずみずしい感性を解き放ちます。読み終わった後、あなたも短歌を詠みたくなくなるはずです。

13 ぼくはO・C・ダニエル



- ① ウェスリー・キング/作
大西昧/訳
- ② 鈴木出版
- ③ 1600円
- ④ 93キ018

主人公のダニエルは13歳。寝る前に「儀式」をしないと死んじゃうと思い込んでいます。これがOCD（強迫性障害）によるものだと分かった時、彼はどうしたのか……作者の実体験を基に、同じ病気で苦しむ人々への、作者からのエールが込められています。

14 セブン・レター・ワード
7つの文字の謎

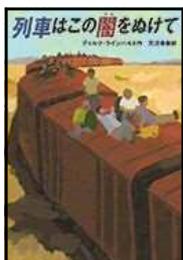


- ① キム・スレイター/作
武富博子/訳
- ② 評論社
- ③ 1500円
- ④ 93ス017

自分のこと、家族のこと、友達のこと
で悩むフィンレイは14歳の中学生。「スクラブル」というボードゲームを軸に、物語は次第にミステリアスな展開へ。

自分の弱さに向き合い、克服しようと頑張るフィンレイに、勇気をもらえる一冊です。

15 列車はこの闇をぬけて



- ① デイク・ラインハルト/作
天沼春樹/訳
- ② 徳間書店
- ③ 2100円
- ④ 94ラ017

アメリカへ出稼ぎに行ったきりの母親を追い、14歳のミゲルは故郷グアテマラを出発してメキシコ縦断の旅を始めます。貨物列車の屋根に乗り、飢えや乾きや寒さ、追い剥ぎや悪徳警官、ギャングなど、様々な苦難を乗り越え旅を続ける少年の姿は、生きる力を感じさせます。